２０１８年（平成３０年）７月１７日　火曜日
デーリー東北　１３面　掲載

▼18日　準々決勝見どころ　▼17日

V候補と勢い乗る公立

光星―大間

優勝候補の筆頭で打線に切れ目がない八学光星に、好投手・佐々木月を擁する大間が挑む。地力のある強豪と、今夏最も勢いづく公立校の一戦。実力や経験値に差はあるが、ロースコアなら大間にも分がある。

八学光星はここまで2試合をコールド勝ち。計20安打を放った打線は、打順に偏りなく長打が出ており、好機を逃さない。守備では5投手が登板し、2試合を失点1に抑えている。

大間はスリークオーターの右腕佐々木月が、的を絞らせない投球で試合をつくる。打線は3番鈴木誠起が打率6割と振れている。

持てる力最大限に

光星・仲井宗基監督　持てる力を最大限発揮できるよう調整したい。相手の勢いに負けないよう、自分たちもそれ以上の力で臨む。

長打で大量点狙う

光星・長南佳洋主将　いかに隙のない野球をするかが大事だ。先頭打者から打線をつなぎ、長打で大量得点を狙いたい。

力の全て出し切る

大間・豊川武伸監督　できることは限られているので、力の全てを出し切りたい。アウトを一つずつ取った先に勝機があるはずだ。

最後まで粘り強く

大間・佐々木月主将　終盤まで競ることができれば、得点のチャンスも生まれるはずだ。最後まで粘り強く戦い抜きたい。

第100回
全国高校野球選手権記念
青森大会

試合速報

守備練習に励む八学光星ナイン＝16日、弘前市はるか夢球場

光星、大間　闘志満々

きょうから準々決勝

第100回全国高校野球選手権記念青森大会は17日、弘前市のはるか夢球場で準々決勝2試合を行う。

きょうの試合

【弘前市はるか夢】
▽準々決勝
八学光星―大　間（9・30）
弘学聖愛―弘前東（12・30）

熱戦を勝ち抜いた8校の甲子園出場を懸けた戦いは、ますます熱を帯びそうだ。

対戦カードは17日が八学光星―大間、弘学聖愛―弘前東、18日は弘前工―工大一、青森山田―青森。初の8強入りを果たした大間が春季県大会覇者の八学光星に挑むほか、夏の大会連覇を狙う青森山田と古豪青森がぶつかる。ノーシードから勝ち上がった弘学聖愛は春季県大会準Vの弘前東、同じくノーシードの工大一は同3位の弘前工とそれぞれ対戦する。

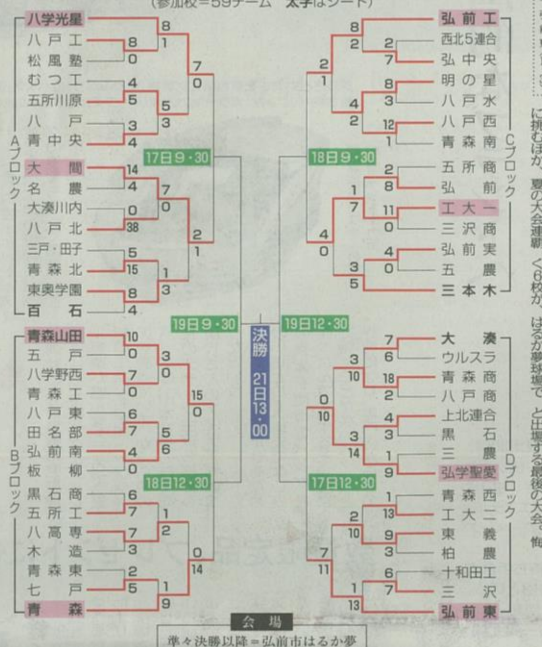
準々決勝を目前に控えた16日、弘前工と工大一を除く6校が、はるか夢球場で公式練習を行い、人工芝の感触を確かめた。

守備練習を中心に行った大間は、人工芝でボールのはね返りなどを確認。遊撃手の能登貴明は「はるか夢での試合は初めてだが、ある程度感触はつかめた」と落ち着いた様子。「3年生と出場する最後の大会。悔いが残らないよう、チーム一丸となって戦いたい」と意気込んだ。

八学光星も守備練習を軸に調整。昨夏から主力の二塁手近藤俊太は「人工芝に慣れない後輩たちもいる。チーム全体のプレーに気を配りたい」と気を引き締めた。昨年は決勝で敗れ、悔しい思いをした球場。「苦しい展開の試合もあると思うが、全員で声を掛け合って前向きにプレーしたい」と闘志を燃やした。

（里村静）

青森大会準々決勝までの勝ち上がりと今後の日程
（参加校＝59チーム　太字はシード）


Aブロック
八学光星
八戸工 8 松風塾 0
むつ工 4 五所川原 5
八戸 3 青中央 4
大間 14 名農 4
大湊川内 0 八戸北 38
三戸・田子 5 青森北 15
東奥学園 8 百石 4
8 1
5 3
7 0
7 0
1 3
2 1
17日9・30
Bブロック
青森山田 10 五戸 0
八学野西 7 青森工 0
八戸東 6 田名部 7
弘前南 4 板柳 0
黒石商 6 五所工 7
八高専 7 木造 3
青森東 2 七戸 5
青森
3 0
5 6
15 0
1 2
1 9
0 14
18日12・30
19日9・30
決勝 21日13・00
19日12・30
Cブロック
弘前工
西北5連合 2 弘中央 7
明の星 8 八戸水 3
八戸西 12 青森南 1
五所商 2 弘前 8
工大一 11 三沢商 0
弘前実 4 五農 0
三本木
8 2
4 2
2 1
1 7
3 5
4 0
18日9・30
Dブロック
大湊 7 ウルスラ 6
青森商 18 八戸商 2
上北連合 4 黒石 3
三農 1 弘学聖愛 9
青森西 1 工大二 13
東義 9 柏農 3
十和田工 6 三沢 7
弘前東
3 10
3 14
0 10
2 10
1 13
7 11
17日12・30

会場
準々決勝以降＝弘前市はるか夢

※「西北５連合」は鰺ケ沢、木造深浦、金木、鶴田、浪岡
「上北連合」は野辺地、六戸、六ケ所

デーリー東北新聞社提供